

令和元年度 東永谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

- ①起伏のある地域で、移動や買い物の支援が必要な高齢者等が多くなってきています。
 ②地区内に学校が点在しており、地域と学校が連携した行事や取組が進んでいます。子どもの安全、孤食、学習支援などの課題に対して、地域による見守り・支援の仕組みが必要となってきています。
 ③全地区に福祉ネットワークがありますが、ニーズの広がり増加に対応するための人材確保が急務です。
 ④単会単位での「住民支え合いマップ」による地域の把握や見守り・支えあいの活動づくりが進んでいます。これらを踏まえ、ケアプラザのすべての機能や事業を通じて、地域住民と協働で、地域課題の把握・解決に取り組めます。

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 在宅診療医による講演会「地域で最期を迎える懇談会」を、今年度は一般市民向けに開催します。講演会を通して、医療・介護・地域が連携して最期まで在宅生活ができるという選択肢があることを一般の住民の方々にもお伝えして行きます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 民生委員とケアマネジャーの連絡会(情報交換会)を開催し、必要な情報や課題の共有と互いの顔の見える関係づくりを進めます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 地域の小学校へ子どもの生活の現状や学習支援のニーズを聞き取り、学習支援活動の立ち上げを進めます。活動の担い手については、ボランティア活動者の少ないエリアに対して重点的に募集し、新たな活動の担い手がボランティア・社会貢献活動を始めるきっかけにつなげていきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 住民支え合いマップを新たに1町内会で実施し、町内会関係者とともに地域の状況・ニーズを共有します。また既に実施済みの町内会については、情報の更新を行います。実施中の町内会については、マップ実施を通して読み取れる課題とその解決について検討する機会を年2回程度設けます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 総合相談の中から子育てをしながら介護に直面している(ダブルケア)方についてお声をかけ、負担緩和に向けたサポートのための集まり「ダブルケアサポート」を年2回以上実施します。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

近隣の小学校へ学習支援のニーズを聴き取り、ボランティアによる学習支援の取組を始めました。ボランティア募集にあたっては、ボランティアの少ないエリアに対して重点的に行い、男性の方に多く参加していただき、やりがいも感じていただいています。今後は学習支援が必要な子どもへこの取組を広げるとともに、子どもの居場所のひとつとなるように育んでいきます。

自治会・町内会単位での情報交換については、新たに1自治会で取組を始めました。民生委員とケアマネジャーの情報交換会は1地区で実施。次年度は他地区での実施も検討します。

「地域で最期を迎える懇談会」は南高校ホールを使用して開催しました。区内外からの参加があり、関心の高さを感じました。

区からのコメント

相談業務や関係機関との関わりの中で困りごとをひろい、それを地域の皆さんと一緒に解決していく視点を持って取り組むことで、子どもの学習支援を実施するだけでなく、ボランティアの発掘やつながりづくりなどにもつながっています。今後も地域の皆さんと一緒に取り組むとともに、関係機関との連携も深めながら取り組んでいただくことを期待しています。

懇談会は昨年に引き続き開催されましたが、今回は地域ケアプラザ圏域を超えて開催されました。医療や介護のこと、意思決定の重要性について多くの方が学ぶいい機会になったと思います。今後も他の地域ケアプラザとも連携しながら、区民の皆様への支援や啓発活動を幅広く進めていきたいと思います。